

事務事業名	おひさまのエネルギー利用推進事業		会計	一般会計	事業種別	政策	開始	23	終了	
課等名	地球温暖化対策課	係等名	地球温暖化対策係							
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり							
	施策	57	社会の低炭素化の推進							

目的	対象(誰・何を)	市民	対象指標	指標名及び単位			24年度数値
	意図(どういう状態にするか)	太陽光由来の電力の利用を推進することで、域内電力自給率を高めつつ、市域からのCO2排出量を削減する。		飯田市の人口(人) (H24.10.1推計人口)			103947
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市全体が排出する温室効果ガスの排出量(トン・21年度算出実績は19年度のものの)		飯田市内の電灯契約使用電力量(MWh):統計から前年度使用量を入力			

目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	温室効果ガス削減量(トン)			-6	2113.8	1950.1	2576.1	
		温室効果ガス削減容量増加(トン/年)					1467.1	1824.1	
	成果指標	飯田市内の電灯契約使用電力量のうち、太陽エネルギー由来を5%にする(%)			4			5	
定性目標									

**事業概要**

おひさまのエネルギー推進事業

- 地域に賦存する重要な自然エネルギー資源のひとつである太陽エネルギー(電気・熱)の利用を促進し、エネルギーの地産地消を推進する。
- 多様な主体の協働による取組みを具現化するため、地域で活動する民間事業者等との公民協働を育みながら、地域の財貨循環に繋がる形で太陽光発電事業を推進する。
- 太陽エネルギー利用機器の普及とともに、グリーン電力等再生可能エネルギーの持つ環境価値や最新の環境技術について市民に情報提供し、地域の事業者と連携しながら、環境技術の高度利用を図る。

事業内容		名称		活動指標	
24年度事業内容	1 一般家庭向け太陽エネルギー利用機器(太陽光発電・太陽熱温水器)設置への奨励金事業(0円システム含む)	1 太陽エネルギー利用機器奨励金交付件数(件)	1 387件	2 229件	
	2 平成9年から15年まで行った太陽光発電利子補給事業の債務負担行為(平成26年まで)	2 利子補給件数(件)	3 18回	4 1回	
	3 メガソーラー発電設備の運営・維持管理	3 維持管理出勤回数(回)			
	4 メガソーラーいいだ補助金交付【新】	4 補助金交付回数(回)			

事業コスト	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①	82,192	48,861	46,049	44,295	[24特定財源] (そ)諸収入(太陽光発電収入市民共同発電)ふるさと基金繰入金 [25特定財源] (そ)諸収入(太陽光発電収入市民共同発電)
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	4,819	4,788	4,788	4,200	
一般財源	77,373	44,073	41,261	40,095	
人件費計(千円)②	0		9,655		
正規職員所要時間			2,700		
臨時職員所要時間					
総事業費①+②	82,192	48,861	55,704	44,295	

**事業内容・目標達成状況の振り返り**

太陽光発電の普及事業を通じて、設置した市民や、様々な民間事業者との協働を実現することができ、「環境モデル都市・飯田」として、高い評価と全国的知名度を得ることができた。

**改革改善の考え方**

①問題点 太陽光発電補助金制度のあり方について、国の補助制度との一定の連動性が必要であり、飯田市の環境政策の中心柱でもあることから、効果的な補助制度のあり方について検討していく必要がある。

②改革提案 固定価格買取制度の導入を踏まえ、新たな制度の構築を検討している。25年4月施行した「再生可能エネルギー条例」の施行後の動向を分析し、新たな市場ベースでの展開可能性を重視して効果的な補助の仕組みを構築していく。